

## 2 アイディア名

キャンドルでつなぐ人と人との輪

## 3 提案（実践）の目的・特色

「アロマキャンドル」は1つとして同じ商品（完成型）がないので、同じ色合いなどを使ってもそれぞれ異なる模様になり、作成者の思いなどが伝わりやすく作成しやすい。また、自分オリジナルのキャンドルも発注できれば、誕生日プレゼントなどで多くの高校生を含めた若者たちが注文すると考えられ、「しずおか授産品」として全国的に知名度を上げていくことが最大の目的である。

## 4 提案（実践）の内容

### 1 はじめに

私たちグループの中の親が障がい者施設で働いており、その話の中で、障害を持っていても手先が器用な人が多くいることを知りました。また、インターネットで障害者施設の取り組みなどを調べてみたところ、パンやクッキー、工芸品、農産物、弁当などの製造販売、名刺印刷など幅広い種類の商品などを取り扱っていることがわかりました。

そこで、今までにまだあまり作られていないもので、作る人によって個性が表れるアロマキャンドルがいいのではないかと思い、実際に本校の高校2年生を対象にアンケート調査を実施した結果、男性は40%、女性は60%の人がアロマキャンドルをもらってうれしいという結果でした。

あるサイトで女子高生へのプレゼントで手軽に喜んでもらえるもの花束やアクセサリーの他にキャンドルがあげられていました。アロマキャンドルというのは癒しの効果があるので仕事、学校などで疲れている若者に家で手軽に利用してもらえます。アクセサリーやバッグなどと違い自分好みのものが簡単に手作りできるので障がい者の方が作るのに向いていると思いました。また、はさみやカッターなど怪我をしがちな道具なども使わないので、作る時に安全です。

### 2 具体的な販売方法と商品の概要

#### ①具体的な販売方法

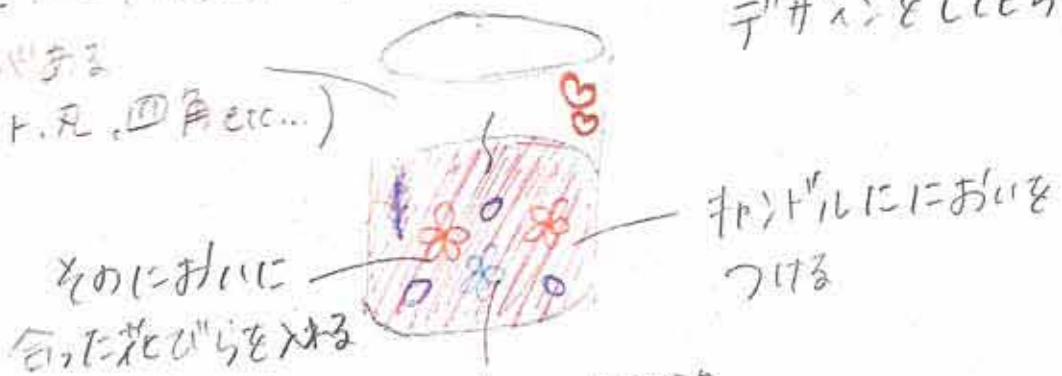
- ・基本的にはホームページからの注文とする。
- ・パースデー、ウエディングなど色々なイベントにも使えるようにたくさんの種類を販売する。
- ・商品には作成者からのメッセージカードをつけ、作成者と消費者をつなげる。
- ・オーダーメイドもできるようにする。

## ②商品の概要

・障がい者の方にデザインをしてもらうアロマキャンドル

容器に色々な種類の  
形がある  
(ハート、丸、四角etc...)

ガラス容器に  
デザインをしてもらう



・キャンドルにバースデーキャンドル、ウェディングキャンドル等、色々な

その場にあったものを作る。

・障がい者が「と」のようなコンセプトで「作ったのか」と書いたメッセージ  
カードをつけてキャンドルを売る。

これを基本的な概要とするが、実際には、注文者が自分の思いに合った、アロマキャンドルを選んで注文することになる。なので、誕生日、記念日、告白用など、若者の生活で使う場面を想定しながら作る必要がある。

### 3. まとめ

今回のアイデアは、まず障がい福祉施設で作るということよりも、自分たち高校生が普段中々自分の気に入った商品が見つからなくて困っていて、なおかつ欲しい人が多い商品を調査して考えた商品である。最近の若者は人と同じものよりもオリジナルな商品を欲しがるとある。そんな傾向にも合ったこのアイデアで、障がいのある人の生活を支える仕事づくりにつながっていったらと思います。